倉吉農業
改良普及所

大豆「三朝神倉（みささかんのくら）」の生産安定と特産物育成への支援

活動期間：平成20年～（継続中）

〇三朝町の新しい特産品育成を目指し、高イソフラボン**地大豆「三朝神倉」**の栽培技術の課題を解決し、**安定生産と面積拡大による生産量の増大**を図るとともに、より付加価値をつけた**新たな加工品開発**に取り組み、商品化を実現した。
〇生産から加工・販売まで関係者が一丸となることで、**さらなる消費拡大**、**生産者数の増加、栽培面積拡大**へつながった。

具体的な成果

1．**「三朝神倉」栽培面積の増加**
■新規栽培の呼びかけや面積拡大の推進により、平成25年現在では生産者数19名、**栽培面積11.3haに増加し、町の特産品として位置づけられてきた。**

2．**「三朝神倉」栽培技術の確立・向上**
■**湿害対策**のための畝立播種技術の導入試験、**べと病**に効果の高い新規薬剤試験や**倒伏防止**のための播種時期、播種密度試験等による**栽培上の課題解決支援により栽培技術の確立が進み、安定した収量確保が可能となった。**

3．**「三朝神倉」を使った新商品2品を開発**
■大豆の旨みがしっかり味わえるドリンクタイプの**濃い「豆乳」（大豆固形分11％以上）を開発、商品化した。**
■大粒大豆の特徴を生かした**「納豆」をプロジェクトチームで企画し、農商工連携により商品化した。**

順調に生育する大豆

新商品の発表会

普及員の活動

【平成20年】
■町の特産化に向け、**組織として活動するよう普及所が助言し、**平成20年6月に**鳥取中央農協三朝地大豆生産部(現三朝神倉大豆生産部)が設立された。**
■振興するための課題と対策、将来の目標について関係機関で議論を重ね**「三朝地大豆生産振興プラン」を作成した。**
■高品質な製品を出荷するために、県事業を活用し**粒選別機の導入支援を行った。**

【平成21年～25年】
■栽培上の問題点への対応策として、畝立播種の導入、播種時期の晩期化等について**試験ほを設置し、成果を栽培指針に反映。**
■**普及所の呼びかけで「プロジェクトチーム」を立ち上げ、豆乳と納豆の商品開発を実現させた。**
■**高濃度の豆乳の製造方法、瓶詰め殺菌方法の確立について支援した。**

普及員だからできたこと

1．町の特産品を**町内農業者自らで作っていくために、生産部の中で考え、議論しながら技術を確立していけるよう働きかけた。**

2．**商品開発に伴う情報提供やコーディネート等、常に現場に密着して細部にわたる検討・支援を行った。**